

奨学生採用申請書の記入について

申請書は、選考上大切な資料ですから、事実を詳しく、ありのままに記入してください。

- 1 標題（ ）内のうち、該当するものに○印をつけてください。
- 2 「年月日」欄
申請書を学校に提出する年月日を記入してください。
- 3 「署名」欄
本人及び保護者等の住所・氏名は、それぞれ本人が自著してください。印鑑は、本人のものと保護者等のものが同じにならないように注意してください。
- 4 「氏名」欄
氏名は、本名を記入し、「ふりがな」をひらがなで記入してください。
年齢は、申請時の満年齢を記入してください。
- 5 「在学（卒業）学校」欄
学科、課程、学年、卒業（予定）年月まで記入してください。高等学校卒業程度認定試験の合格者（又は大学入学資格検定の合格者）は、合格年度を記入してください。
- 6 「進学希望校」欄
進学を希望する学校名を記入してください。
- 7 「申請区分」欄
募集要項の「2 奨学資金の名称、種類、区分及び金額」をよく確認の上、貸付を希望する欄にレ点を記入してください。入学支度金のみ申請、奨学金と入学支度金の併願も可能です。
※ 西村奨学資金（月額 45,000 円）の申請者で、選考に漏れた際に八幡浜市奨学資金（月額 35,000 円）を希望する場合は、月額 35,000 円の欄にもレ点を記入しておいてください。
- 8 「生計を一にする家族及び所得」欄
同・別居を問わず生計を一にしている者（申請者本人を含む）は、全員記入してください。
単身赴任、就学、病気療養等で一時的に別居している者も該当します。
所得については、原則として**令和5年分の収入による額**（市の証明による額）としますが、就職・転職等により現状と異なる場合は、現在の収入状況を年額に換算した額を記入してください。その際には、それらの事由及び現在の収入状況を証明する書類を添付してください。
 - (1) 「続柄」欄
本人との続柄を記入してください。（例）父・母・兄・姉等
主たる家計支持者の続柄に○印を付してください。（例）⊗
 - (2) 「氏名」欄
氏名を記入してください。
 - (3) 「年齢」欄
申請時の満年齢を記入してください。
 - (4) 「勤務先又は在学校名」欄
具体的に記入してください。
（例）「商業」としないで「○○食料品店」、「○○衣料品店」
「公務員」としないで「○○市役所」

「〇〇大学」としないで「〇立〇〇大学」
 年金収入がある場合は、年金の種類を記入してください。
 無職の場合は無職と記入してください。

(5) 「給与所得」欄

- ①上段の（ ）内には、給与、賃金、役員報酬、専従者給与、年金、恩給等の収入年額を記入してください。(万円未満の端数切り捨て)
- ②下段には、上段の額を次の方法で計算して記入してください。(万円未満の端数切り捨て)

収入年額	所得年額
329万円以下	0円
330万円以上 400万円以下	収入年額×0.8－262.6万円
401万円以上 878万円以下	収入年額×0.7－222.6万円
879万円以上	収入年額－486万円

(6) 「給与所得以外」欄

- ①上段の（ ）内には、農業、商業、工業、その他給与所得によらない所得の総収入年額を記入してください。(万円未満の端数切り捨て)
- ②下段には、総収入年額から必要経費を差引いた金額を記入してください。(万円未満の端数切り捨て)

(7) 「計」欄

給与所得の「所得年額(税込)」の計をA欄に、給与所得以外の「所得年額(税込)」の計をB欄に記入し、A欄とB欄の合計金額をC欄に記入してください。

(8) 「備考」欄

次の場合に記入してください。

- ①学校に在学する方で、自宅外通学をしている場合・・・「自宅外」
- ②障害者に該当する場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・「障害者」
- ③長期療養者に該当する場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・「長期療養者」
- ④主たる家計支持者が別居している場合・・・・・・・・・・「別居」
- ⑤その他参考となる事項があれば記入してください。

(9) 「他の奨学金等との併願」欄

他の奨学金等と併願している場合は、有に○印をつけ、併願している奨学金等制度名を記入してください。

(10) 「家庭事情」欄

奨学資金の貸付を希望する家庭事情を具体的に記入してください。また、次の事情がある場合はその旨明記して、状況を記入してください。

- ・母子世帯や父子世帯に該当する場合(児童扶養手当等の状況を記入してください。)
- ・障害者や長期療養者に該当する方がいる場合
- ・退職、倒産等収入減となる事情があった場合(その事情の生じた時期も記入してください。)
- ・生活保護世帯に該当する場合
- ・単身赴任、下宿(自宅外通学)など、支出を増加させる事情がある場合
- ・その他特別な事情がある場合(具体的に記入してください。)

奨学生推薦調書の記入について

1 推薦基準

原則として、推薦できる者は次の各号に掲げる要件を備える者とします。

(1) 人物

学習活動その他生活の全般を通じて態度・行動が学生・生徒にふさわしく、将来良識のある社会人として活動できる見込みがあること。

(2) 健康

就学十分に耐え得ると認められること。

(3) 学力

① 高等学校・高等専門学校・専修学校（高等課程）奨学生を希望する者

勉学に意欲があり、進学先学校において学業を確実に修了できる見込みがあること。

（評定平均値による制限はありません。）

② 大学・短期大学・専修学校（専門課程）奨学生を希望する者

勉学に意欲があり、進学先学校において学業を確実に修了できる見込みがあることに加え、第1学年から第3学年の第2学期までの全履修教科の評定平均値が3.5以上であること。

※ ただし、西村奨学資金を希望する者は、評定平均値4.0以上であること。

2 推薦調書

標題（ ）内のうち、該当するものに○印をつけてください。

本人の氏名、生年月日、在学学校（既卒業者は最終卒業校）を記入するとともに、次により記入してください。

(1) 「学習成績の評定平均値」欄

第1学年から第3学年の第2学期までの全履修教科の評定平均値を記入してください。（5段階で評定し、評定平均値の小数点以下第2位で四捨五入する。）

(2) 「学力所見」「人物所見」欄

担任教師等による所見を記入してください。総合判定は以下の評価区分のいずれかに○印をつけてください。

A 奨学生として適している。

B 奨学生として努力は要するが成業は見込める。

C 奨学生として心配がある。

(3) 「出欠状況」欄

出席簿により記入し、出欠状況、健康状況に特記すべき事項があれば記入してください。

(4) 「推薦所見」欄

上記に記入した学力・人物・健康状況のほか、家庭状況・学習に対する意欲や、学校内外の活動など、特記すべき事項があれば記入してください。